

平成 30 年 3 月 23 日閣僚懇談会における内閣総理大臣の発言内容

- この度の決裁文書の書換えにより、行政全体の信頼が損なわれました。痛恨の極みです。
- 一度失われた信頼を取り戻すことは至難ですが、我々閣僚が先頭に立って、全ての政府職員が、一からやり直すつもりで、信頼回復に全力で取り組んでいきましょう。
- まず、全ての政府職員には、原点に立ち返り
 - ・ 公文書は国民が共有する知的資源であること
 - ・ 公文書を扱う者の立場は、極めて重いことを改めて、肝に銘じていただきたいと思います。
- その上で、各行政機関は、次の事項に、直ちにに取り組んで欲しいと思います。
 - ・ 幹部職員が先頭に立って、4月からの新ガイドラインによる厳格なルールを全職員に徹底し、確実に運用すること
 - ・ 更新等の履歴が厳格に管理できる電子決裁システムへの移行を加速すること
- 現在、私たちは、今般の決裁文書の書換え事案について、事実関係の調査、解明を進めています。今後、その解明を踏まえ、更に問題点を洗い出し、公文書管理の在り方について、政府を挙げての見直しを行いたいと考えています。